

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第196号

令和元年(2019)7月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

トケイソウ

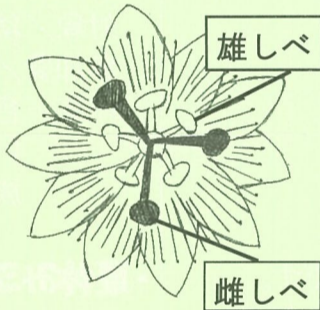


荏三公園近くのお宅のフェンスに咲いていた花…テッセンだと思っておりましたが、よく見ると時計の長針・短針・秒針のように見える3つの雌しべが特徴のつる性植物トケイソウでした。

南米ブラジル原産で500種ほどが世界中で観賞用に広く栽培されています。日本には、大正の末に渡来しました。

花色は、白・赤・ピンク・黄・紫と多彩で初夏から秋まで咲きます。花言葉は「聖なる愛・信じる心」など。

(小山3丁目町会・柿沼恵子)



「オセロ」は2チーム対抗でトランプを表と裏にひっくり返し、より多く返したチームが勝者となるゲームです。毎年苦戦するヘイカモンに加え、このゲームも体力を強いられる大人にとっては厳しい戦いとなります。

開会式と準備体操を行い、いよいよゲームがスタートしました。今年の種目は「オセロ」に加え、4種目です。



チームみんなで手を繋いでハイアンリレー

「風船運び」は膨らませた風船をうちわを使って運びリレー形式の競技です。不安定に宙を舞う風船を叩いたり扇いだりして運びますが、風船に意識が集中してコースから大きく外れたり、なかなか前に進めなかったりと、どのチームも大苦戦の様子でした。

「オセロ」は2チーム対抗でトランプを表と裏にひっくり返し、より多く返したチームが勝者となるゲームです。毎年苦戦するヘイカモンに加え、このゲームも体力を強いられる大人にとっては厳しい戦いとなります。

開会式と準備体操を行い、いよいよゲームがスタートしました。今年の種目は「オセロ」に加え、4種目です。

「風船運び」は膨らませた風船をうちわを使って運びリレー形式の競技です。不安定に宙を舞う風船を叩いたり扇いだりして運びますが、風船に意識が集中してコースから大きく外れたり、なかなか前に進めなかったりと、どのチームも大苦戦の様子でした。

(事務局)

連合町会総会
連長に戸田さん再選(小山一丁目町会)



町会の結束力を強固なものに

荏原第一連合町会の総会が、5月24日(金)にスクエア荏原で開催されました。

本総会には、管内の14町会から総勢69名の皆様にお集まりいただき、盛大に開催されました。

冒頭の会長挨拶では、荏原第一連合町会会長の戸田光則会長が挨拶。(平成31年2月8日開催の常任理事会で臨時総会を開催し、連長就任。)

戸田会長は、災害に対する取り組みについて触れ、町会が高齢者の見守りや、子どもの安全対策などに力を入れ、今後も住みやすいまちづくりを進めていきたいと挨拶されました。

今回の総会では、合わせて役員の変更も行われました。その後の懇親会では、2町会で1つのテーブルを囲み、町会の枠を超えて、参加者の親睦を深めました。

ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。(事務局)

大盛況! 毎年恒例ミニ運動会 地区委員会主催事業

青少年対策荏原第一地区委員会が実施する春の企画「みんなて遊ぶエバリピック5」が5月25日(土)にスクエア荏原のアリーナで開催されました。

当日は、小山・小山台・後地小学校を中心とした子どもたちが42名参加しました。今まで地区委員会事業に参加したことのある顔見知りの子どもの嬉しさもたたくさんいて、地区委員の嬉しさもひとしおです。久しぶりの再会に子どもたちとの会話も弾み、一気に距離が縮まりました。

「オセロ」は2チーム対抗でトランプを表と裏にひっくり返し、より多く返したチームが勝者となるゲームです。毎年苦戦するヘイカモンに加え、このゲームも体力を強いられる大人にとっては厳しい戦いとなります。

地域センターでひと休み 今夏も避暑シェルターを開設

荏原第一地域センターでは、熱中症対策として、避暑シェルター(ウオーターサーバー)を設置しています。地域センターにお立ち寄りの際は、ぜひご利用ください!

● 設置期間 / 9月30日(月)まで

平日8時30分〜17時

● 設置場所 / センター2階 窓口内

防災☆ワンポイント

(東京都発行「東京防災」より)

● 室外の備え 居住地域を知る

家のまわりの地形や地質、崖地など危険な場所、過去の災害とその対策を知ることは、災害対策に必要不可欠です。また、避難場所や避難経路、広い公園などのオープンスペース、公民館、コンビニなどの施設を確認しておきましょう。いざというときに早めの対応ができ、安全な場所に避難することができます。



避難先を確認する

避難指示が出たり、火災の危険が迫ったときは、近くの小中学校や公園などの一時集合場所に避難します。そこが危なくなったら、大きな公園や広場などの避難場所へ移動。自宅が被害を受け、生活困難な場合は避難所でしばらく生活します。それぞれの違いを理解しておくことが大切です。

